

問い合わせ先

海洋情報部海洋調査課

課長補佐 古川 博康

電話 03 - 3541 - 3815

(内線621)



平成20年10月31日

海上保安庁

## 大陸棚の限界の申請について

総合海洋政策本部は、本日、我が国が延長を申請する大陸棚の限界を決定しました。海上保安庁は、25年間にわたる調査を実施し、大陸棚の限界決定に多大な貢献をしました。

### ・大陸棚の限界決定

総合海洋政策本部（本部長：内閣総理大臣）は、本日の会合において、我が国が延長を申請する大陸棚の限界を決定しました。

今後、当該大陸棚の延長に関する情報を、国連に事務局がある「大陸棚の限界に関する委員会」に提出し、その勧告をうけることとなります。

なお、総合海洋政策本部からも同時広報されます。

### ・海上保安庁の貢献

海上保安庁は、我が国の大陸棚の限界を申請するために必要な科学的及び技術的な資料を得るため、昭和58年から水路測量の一環として大陸棚調査を実施し、その調査距離の総延長は約108万km（地球約27周）にも及びました。

この結果、平成15年までに我が国の大陸棚を延長することができる可能性がある海域が明らかになり、平成16年からは内閣官房の総合調整の下、政府一体となって調査を進めることになりました。海上保安庁は、精密海底地形調査と地殻構造探査を担当し、本年6月までに調査を終了しています。

海上保安庁等により調査された成果が取りまとめられた結果、申請する大陸棚の限界は、本日の総合海洋政策本部で決定された範囲となりました。

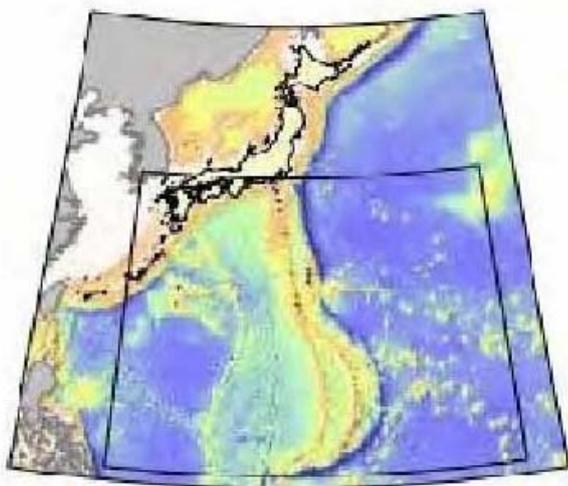
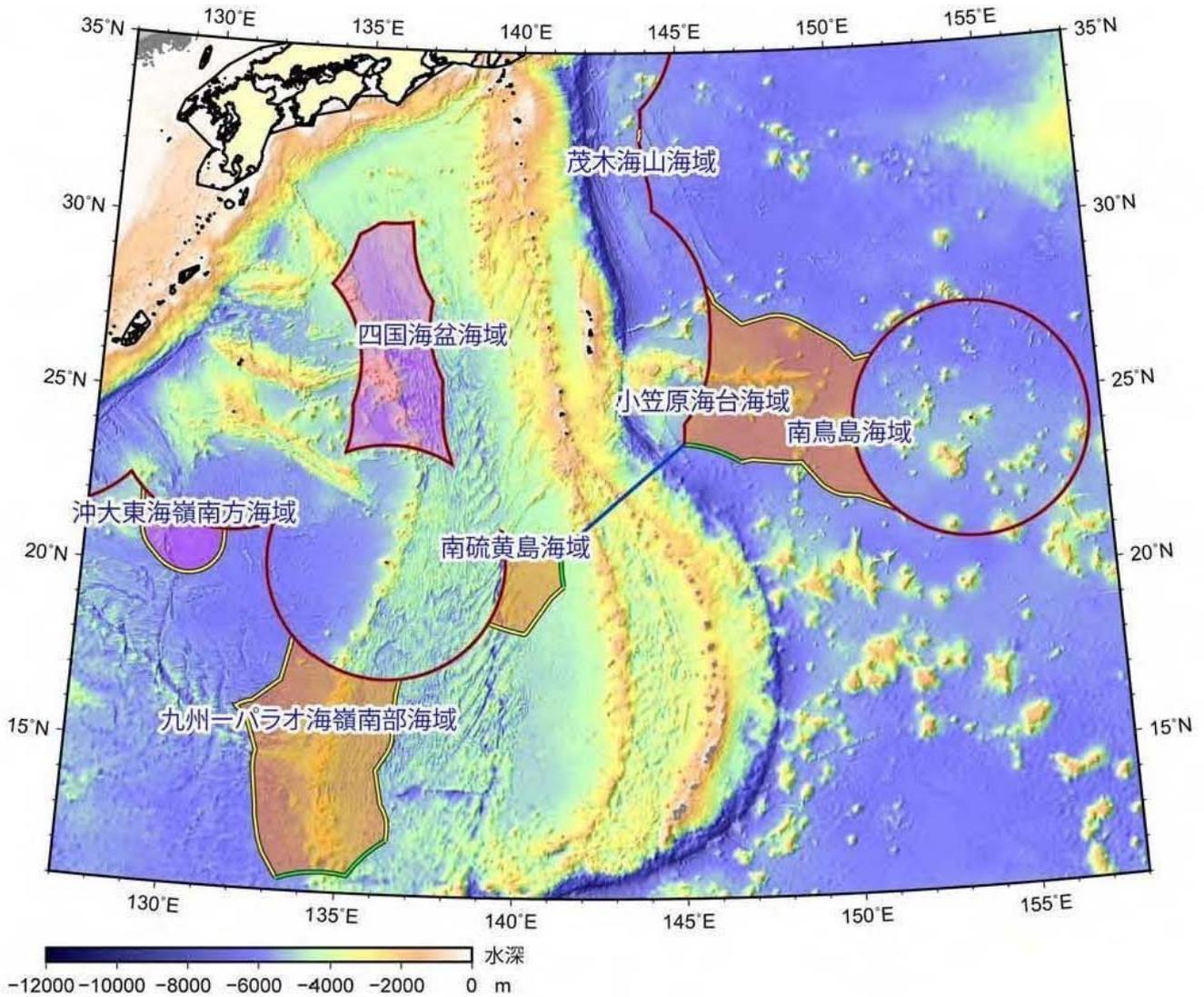
海上保安庁が実施した調査は、大陸棚の延長申請の科学的及び技術的データとして活用されましたが、そのほかでも、これまで全く未知の世界であった太平洋沖合域の海底地形が明らかになり、新たな地形が数多く発見され、防災や地球科学の発展にも大きく貢献しております。

## 「大陸棚の限界に関する委員会」に提出する 大陸棚の限界（案）の概要

平成 20 年 10 月 31 日  
総合海洋政策本部事務局

1. 「海洋法に関する国際連合条約」は、沿岸国の大陸棚を、領土の自然の延長をたどって大陸縁辺部の外縁までの海底及びその下とし、これが沿岸国の領海基線から 200 海里を超えて延びている場合には、当該大陸棚の限界に関する情報を、「大陸棚の限界に関する委員会」（以下「委員会」という。）に提出し、その勧告を受けることとしている。
2. 同条約が規定する大陸棚の限界を明らかにするため、内閣官房の総合調整の下、平成 16 年度から政府一体となって行った大陸棚調査（本年 6 月完了）の成果を取りまとめた。その結果、付図に示す 7 つの海域で、領海基線から 200 海里を超えて大陸棚が延長していると考えられるため、その限界を委員会に提出するものである。
3. これらの海域のうち、オレンジ色で範囲を示す海域については、相対国の延長された大陸棚と重なる可能性があり、我が国と当該国の双方が必要に応じ、協議の上、延長された大陸棚の境界画定を行う必要がある。

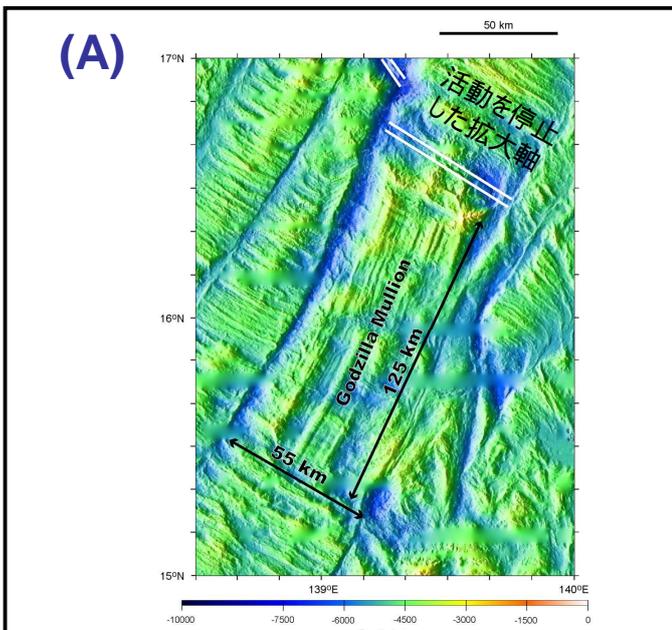
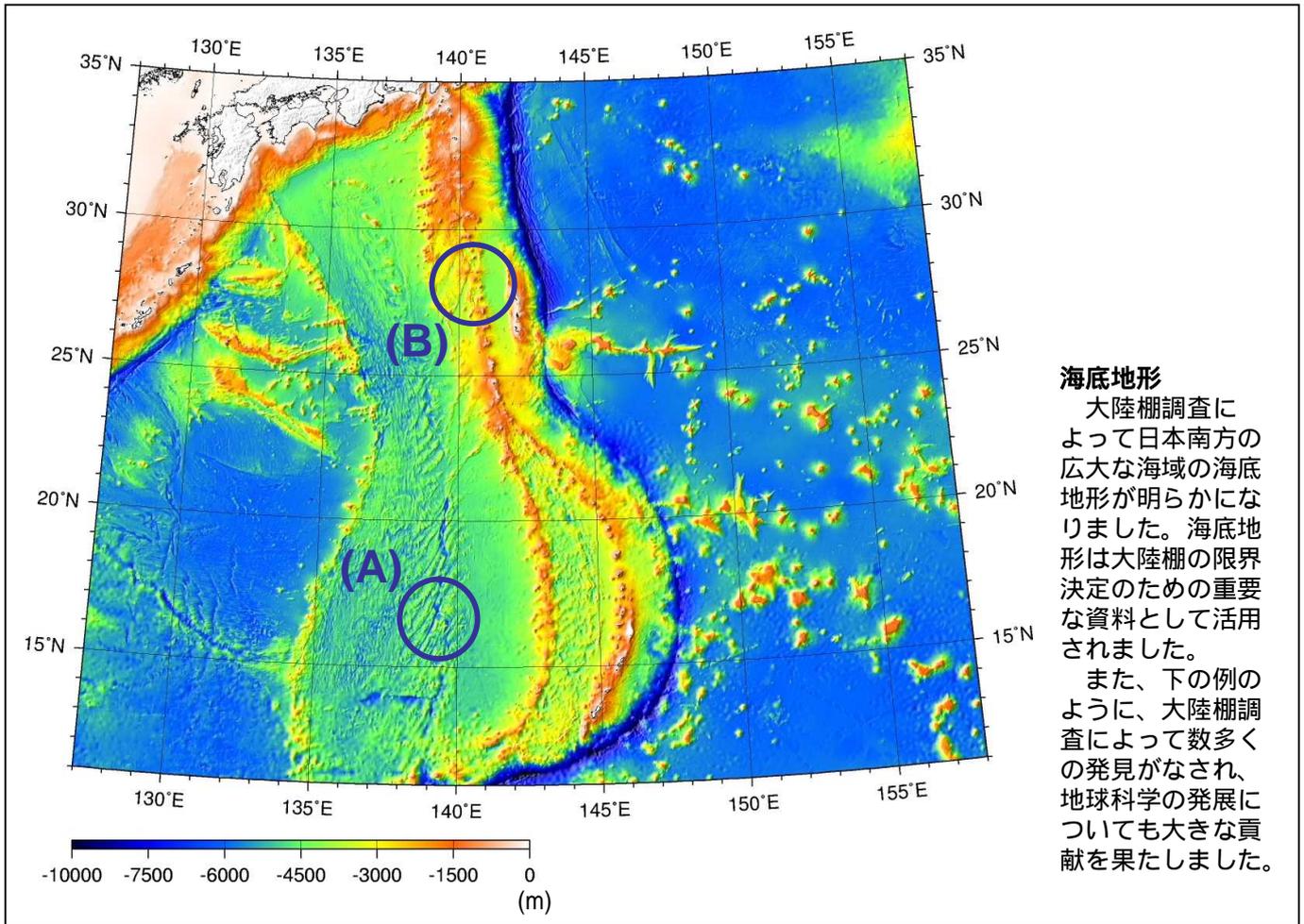
# 大陸棚の限界



○地図の凡例

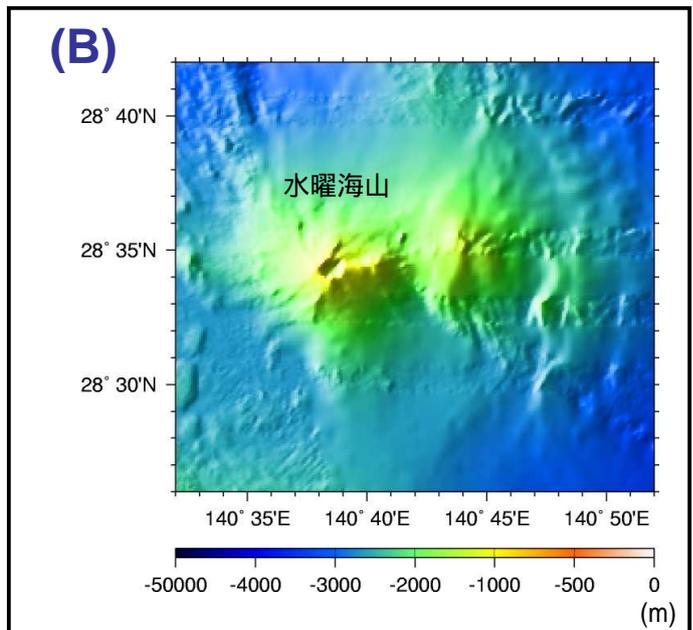
- 日本の領海基線から200海里の線
- 他国の領海基線から200海里の線
- 日本の領海基線と他国の領海基線からの等距離中間線
- 大陸棚の限界
- 日本の領海基線
- 日本の領海基線から200海里を超える大陸棚の範囲 (相対国の大陸棚と重複する可能性のないもの)
- 日本の領海基線から200海里を超える大陸棚の範囲 (相対国の大陸棚と重複する可能性のあるもの)
- 日本の領土

# 大陸棚調査の成果事例



## ゴジラムリオン

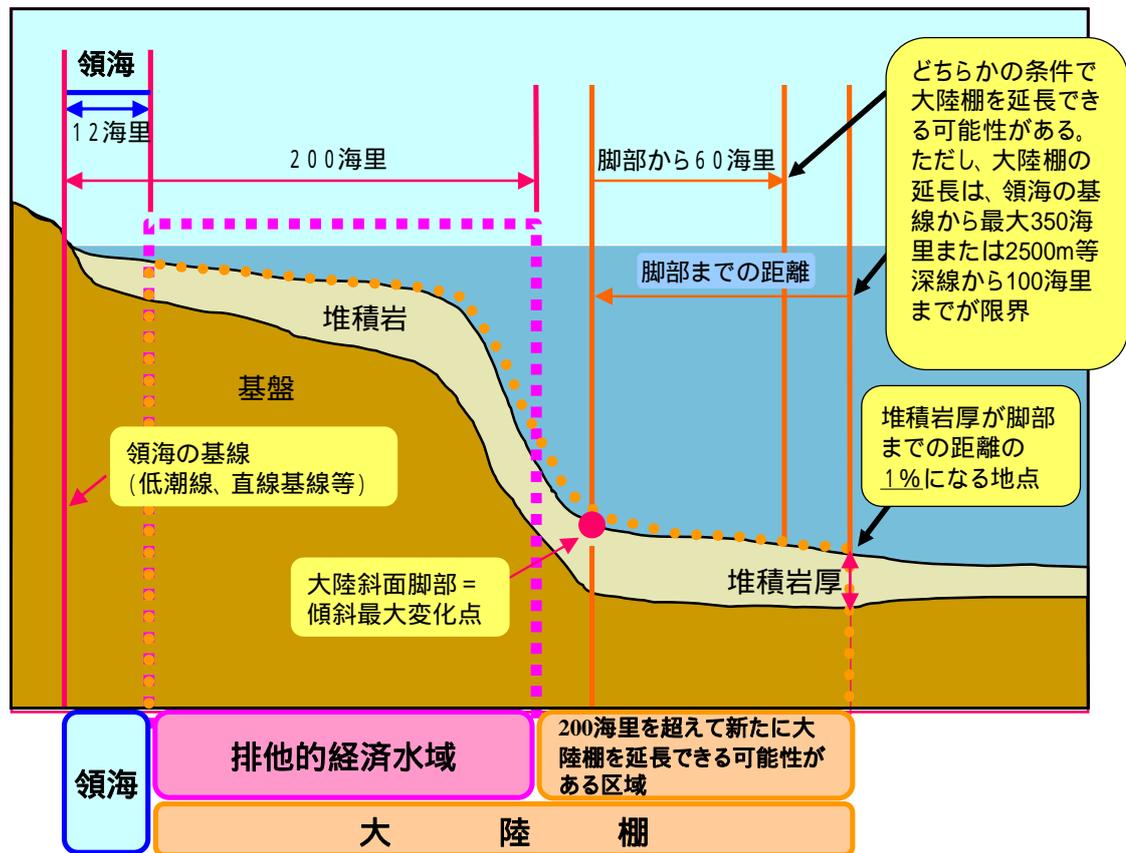
拡大軸に直交する畝状の地形を伴う高まりはムリオンと呼んでいます。本州のはるか南方において、ゴジラムリオン(125 km x 55 km)と呼ばれる巨大なムリオンが発見されました。ゴジラムリオンを始め、ムリオンではマントル由来と考えられる岩石が発見されており、非常に注目されています。



## 水曜海山

父島の北西には、7つの海山が南北に並び、七曜海山列と呼ばれています。七曜海山列のうち、水曜海山は、特に活発な活動を続けている海底火山で、山頂付近には熱水性鉱床が発達しています。この火山の熱水性鉱床からは非常に高濃度の金を含有している岩石が採取されました。

## 大陸棚の定義



隣接国、相対国との重複がない場合、原則、領海の基線から200海里までを沿岸国の大陸棚

海底の地形・地質が一定の条件を満たす場合、以下の地点まで延長が可能

- 大陸斜面脚部から60海里まで
- 堆積岩の厚さが大陸斜面脚部からの距離の1%になる地点まで

延長の限界

- 領海の基線から350海里まで
- 2,500メートル等深線から100海里まで

注：1海里 = 1.852キロメートル